

みんなでつくろう、これからの医療プロジェクト みんつくゼミナール 2022 開催趣意書

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「みんなでつくろう、これからの医療 <People's Power flow into Healthcare : PPH> プロジェクト (PPH プロジェクト)」は、あらゆる人が立場を超えてこれからの医療を一緒に考え、創っていくためのプロジェクトです。

病気をもつ人が治療のために生活を諦めるのではなく、自分らしい生活のための治療ができるように。そして、日本のこれからの医療を素敵なものにするために、病気や資格の有無に関わらず、すべての人たちが語り合い、病気をもつ人視点の治療・薬・サービスを「あたりまえ」にすることを目指します。

近年「患者協働参画 (=患者参加型医療)」や「研究への患者・市民参画 (Patient and Public Involvement, PPI)」の動きが盛んになり、病気をもつ人・患者会とライフサイエンス企業が直接交流する機会が増えています。そこでは病気をもつ人・患者会の「声」とライフサイエンス企業で働く人々の「想い」を伝え合うための対話や交流が重要になりますが、私たちは、どうすればこの「声」と「想い」をうまく繋げることができるか、2019年12月より検討してきました。

その解決策の一つとして、病気をもつ人・患者会とライフサイエンス企業をつなぐ「ハブ/架け橋」としての役割を果たすため「みんなでつくろう、これからの医療プロジェクト」を立ち上げました。現在、病気をもつ人やライフサイエンス企業の方、行政の方や研究者等あらゆる立場の方々約40名と共に取り組んでいます。

プロジェクトで得られる成果物は、病気をもつ人の価値を活かした「病気をもつ人や市民視点の治療、薬、新しいサービス」です。これは、障害者権利条約策定の際に障害者の思いを代弁するスローガン「Nothing about us without us (私たちのことを私たち抜きに決めないで)」や「患者協働参画」「よりよいPPIの実現」に通ずるものと考えています。

しかし現状のライフサイエンス業界において「患者協働参画」は、企業の成長に必要なキーワードとしてその重要性は広く知られていますが、本当の意味を理解し、実践することは難しい状況であると認識しています。

そこでまず病気をもつ人、ライフサイエンス企業、医療者、研究者といった、立場の異なる人たちの「すれ違い」や「思い込み」をなくし、お互いを知るとはどういうことなのか、これまでになかったアプローチでの学びは、企業の方にとっても「患者協働参画」の本質を知る機会になると考え、「みんつくゼミナール」と題した5つのセミナー開催を企画しました。

つきましては、本イベント開催にあたり貴社のご協力を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2022年8月吉日
 一般社団法人ピーベック
 代表理事 宿野部武志



【1】 みんなでつくろう、これからの医療プロジェクト 実施概要

目的	「病気をもつ人・患者会」と「ライフサイエンス企業」をつなぐ【ハブ/架け橋】としての役割を果たし、両者の交流と協働を推進すること
目標	日本のこれからの医療を素敵なものにするために、病気をもつ人視点の治療・薬・サービスを「あたりまえ」にする
対象	病気をおもちの方、患者会（患者支援団体）、ライフサイエンス企業、医療者、研究者、興味のある市民
主催	一般社団法人ピーベック
賛同団体	グリーンループ、認定 NPO 法人希望の会、NPO 法人日本ナルコレプシー協会
協力組織	NPO 法人患者中心の医療を共に考え共に実践する協議会(JPPaC)

【2】 みんつくゼミナール 2022 開催概要

日程	2022年6月～2023年1月	
方式	オンライン（事後、アーカイブ動画を配信）	
参加費	無料	
対象	病気をおもちの方、ご家族、患者会（患者支援団体）の方、ライフサイエンス企業の方、医療者、研究者、興味のある市民	
プログラム案 【2時間/回】	第1回 (6月4日開催)	「思い込み」と「すれ違い」を無くそう 講師: 清水 研先生 (がん研有明病院腫瘍精神科部長)
	第2回 (9月4日開催)	PPI (患者市民参画) っていう前に～コミュニケーションのズレをどうするか～ 講師: 市川 衛氏 (一社メディカルジャーナリズム勉強会代表)
	第3回 (10月16日開催)	医療における「情報発信」に必要なことを考えよう(タイトル仮) 講師: 大野 智先生 (島根大学医学部附属病院臨床研究センター教授)
	第4回 (12月開催予定)	PPH プロジェクト ルールブックチーム制作 「病気をもつ人とライフサイエンス企業の協働ガイドブック」を知ろう
	第5回 (1月開催予定)	ペイシェントジャーニーから考える「あの時、必要だったこと」 (全5回のまとめ/タイトル仮) 講師: 未定
主催	一般社団法人ピーベック	
共催	グリーンループ、認定 NPO 法人希望の会、NPO 法人日本ナルコレプシー協会、NPO 法人患者中心の医療を共に考え共に実践する協議会(JPPaC)	
協賛	ライフサイエンス企業等からの支援を想定	
目的	病気をもつ人、ライフサイエンス企業、医療者、研究者等立場の違う人たちが協働し、これからの医療をつくっていくために、お互いを知るとはどういうことか、これまでになかったアプローチで学ぶことにより「患者協働参画」の本質を知る機会となること	

【3】協賛募集要項

趣旨にご賛同しご協賛いただける場合は、以下の方法にてお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

	支援種別	支援金額	支援メリット
内容	ご希望回へのご協賛	5万円/ 1回あたり	<ul style="list-style-type: none"> ・ご希望のプログラムにイベント協賛の スポンサー表示 ・専用ウェブサイトへ企業名の掲載
申込期限	2022年11月30日		
申込方法	<p>所定の申込書に必要事項をご記入のうえ、以下までメールにてお申込みください。 ＊応募多数の場合、期限前に申込を締切ることもございます。お早めにお申込ください。</p> <p>メール：kaori.shukunobe@ppecc.jp 担当：一般社団法人ピーベック 宿野部香緒里</p>		
審査基準	<p>以下に該当する法人・団体は、ご支援をお申し出いただいても受理できませんので 予めご了承ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の医療機関、医師を支持、あるいは助成を受ける法人・団体 ・承認、未承認にかかわらず、特定の治療法を支持、推進する法人・団体 ・特定の健康食品、健康器具等を推奨、販売する法人・団体 ・特定の政治団体、宗教等を支持、あるいは助成を受ける法人・団体 		
支払方法	<p>申込書送信後、2ヶ月以内に指定口座へお振込みください。請求書発行をご要望の 場合は、申込書送信時にお申し付けください。</p> <p>※銀行振込のみ承ります。振込手数料は貴社にてご負担をお願いいたします。</p>		
振込先口座	<p>銀行名：三菱UFJ銀行 支店名：烏山支店（358） 口座番号：普通預金 0297173 口座名義：一般社団法人ピーベック <シャ>ピーベック</p>		
情報公開について	<p>共催・協賛等にてご協力いただいた企業様については、本プロジェクト専用ウェブ サイトにて情報公開させていただきます。また支援企業にて、本プロジェクトに対 するご支援を公開することに同意いたします。</p>		

【4】収支計画

収入の部			
1. 全5回へのご協賛	2社	250,000	500,000
2. ご希望回へのご協賛	20口	50,000	1,000,000
ピーベック負担			190,000
合計			1,690,000

支出の部			
オンライン配信 (アカウント使用料:500名迄、当日運営・事前準備含む)	5回	100,000	500,000
広告宣伝・管理費 (ウェブ掲載用チラシ制作、ウェブサイト・SNS・メールマガジンの 運用、申込フォーム作成・管理等)	5回	80,000	400,000
講師謝金	3名	30,000	90,000
講師事前収録必要時、編集制作費用	3回	50,000	150,000
アーカイブ動画編集制作費(サムネイル・タイトルバック制作込み)	5回	70,000	350,000
参加者アンケート(実施・集計)	5回	30,000	150,000
協賛企業向け開催レポート(5回分まとめて)作成	一式	50,000	50,000
合計			1,690,000

みんなでつくろう、これからの医療プロジェクト
 みんなつくゼミナール 2022

支援申込書

開催主旨に賛同し、以下のとおり協賛を申し込みます。

申込日	2022年 月 日	
支援内容	ご希望回へのご協賛 ご希望回：	5万円×（ ）口

法人名	(印)	
部署名		
担当者名		
住所	〒 -	
電話番号		
メールアドレス		
リンク先 URL		
ご入金予定日	2022年 月 日	
請求書発行	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	
	請求書送付先住所（上記と異なる場合） 〒 -	

問い合わせ・申込書送信先

一般社団法人ピーベック（担当：宿野部香緒里）

住所 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-33-1 サンライズプラザ 501
 TEL 03-6279-5669（代表）
 メール kaori.shukunobe@ppecc.jp